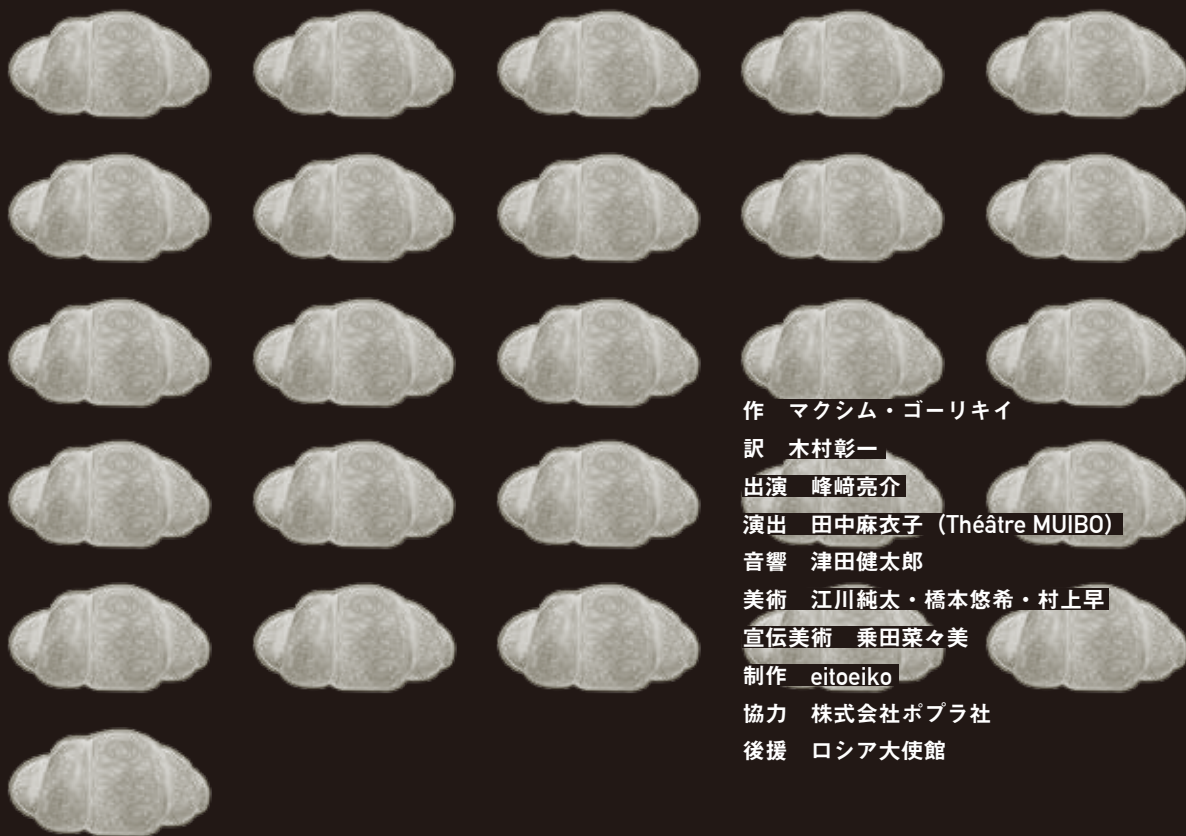


## 二十六人とひとり

Twenty-six Men and a Girl



作 マクシム・ゴーリキイ

訳 木村彰一

出演 峰崎亮介

演出 田中麻衣子 (Théâtre MUIBO)

音響 津田健太郎

美術 江川純太・橋本悠希・村上早

宣伝美術 乗田菜々美

制作 eitoeiko

協力 株式会社ポブラ社

後援 ロシア大使館

eitoeiko

2016年3月

12 (土) 13 (日) 19 (土) 20 (日) 21 (月・祝)

# ДВАДЦАТЬ ШЕСТЬ И ОДНА

## 二十六人とひとり

Twenty-six Men and a Girl

ロシアの国民的作家であり、「浮浪者出身の作家」と呼ばれた マクシム・ゴーリキイ (1868-1936)。トルストイやチェーホフと並んで作家的名声を得るまでに数々の職を転々とし、その経験を元に多くの作品を残しています。

その中でも初期短編の最高傑作と言われているのが本作、「二十六人とひとり」です。本作を 1899 年に発表し、その三年後、代表作となる「どん底」をモスクワ芸術座で上演。空前の成功を収め、作家としての地位を不動のものとししました。「叙事詩」というサブタイトル、実験的な手法で現在でも評価の高いこの作品を俳優、峰崎亮介が演じます。会場は神楽坂のギャラリー、eitoeiko。

日本初上演となる「二十六人とひとり」、どうぞご期待ください。

### Story

陽の当たらない地下室で朝から晩まで巻きパンをつくり続ける「おれたち」。主人からはこそ泥呼ばわりされ、腐った臓物を食べながら過ごす日々。ところがある日、ひとりのパン焼き職人がくびになったことで「おれたち」にとある変化が訪れる。こんな生活はついに一度もしたことがない。「おれたち」にとって特別な二週間が始まる――。



峰崎亮介 Ryosuke Minezaki

1984年7月21日生まれ福岡県出身。早稲田大学卒業後、二年間のサラリーマン生活を経て新国立劇場演劇研修所に入所(7期修了)。主な出演作に、こまつ座「きらめく星座」、Kawai Project「から騒ぎ」、てがみ座「地を渡る舟」、こころで聴く三島由紀夫「道成寺」など舞台を中心に活動をしている。

2016年3月	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	21(月・祝)
14:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	

料金 1,500 円 (税込) ※ 全席自由席

上演時間は1時間弱を予定しております。  
開場は開演の30分前です。

チケットのご予約先 ▶ eitoeiko

お電話 (03-6873-3830) か

Eメール (ei@eitoeiko.com) にて承ります。

お名前、電話番号、希望日時、チケット枚数をお伝え下さい。こちらからのお返事をもって予約完了とさせていただきます。

### 会場

eitoeiko (エイトエイコ)

〒162-0805

東京都新宿区矢来町 32-2

03-6873-3830

開廊時間 12:00 - 19:00

<http://eitoeiko.com>

東京メトロ東西線神楽坂駅矢来口より徒歩5分

